

## 令和元年度（第11期）事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日

### 1. 事業の成果

都道府県開催の「放課後児童支援員認定資格研修」は、西日本を中心に7県の委託を受け実施することとなり、本会が全国一の受託数であった。今までの放課後児童指導員資格認定事業の実績ゆえの結果であり、放課後児童支援員の専門性の向上に向けて貢献することができた。

### 2. 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
<b>■放課後児童指導員資格認定事業</b>						
資格認定講習会	放課後児童育成支援師資格等認定講習会開催	年9日	岡山市内 東京都内	4人	一般 24人	928
資格認定	資格の認定証発行等	年1回	岡山市内	3人	修了者 21人	164
資格養成課程	大学等へ養成課程カリキュラムの導入	通年	全国各地	2人	大学・短大等	19
資格認定者管理	資格者の管理等	通年	岡山市内	2人	登録会員 1087人	0
<b>■放課後児童指導員研修事業</b>						
都道府県放課後児童支援員認定資格研修	各地放課後児童支援員研修の受託、講師派遣	年78日	6県 18カ所	26人	自治体等 受講者 1,613人	25,118
フォローアップ研修	資格者の再研修及び指導者資格研修	年4回	全国 4カ所	7人	登録会員 79人	249
岡山県放課後児童支援員等資質向上研修	放課後子ども総合プラン合同研修、初任者・中堅者研修を行う	年6回	岡山県	7人	自治体等 受講者 395人	2,072
島根県放課後児童支援員等研修	放課後児童支援員認定資格研修とキャリアアップ研修を行う	年18回	島根県	8人	自治体等 受講者 355人	6,560
放課後児童支援員認定資格研修テキスト作成事業	放課後児童支援員認定資格研修で使用するテキストの作成	通年	岡山市内	4人	自治体等 多数	1,293
<b>■放課後児童健全育成事業 実施なし</b>						
<b>■その他本会の目的を達成するための事業</b>						
放課後児童クラブ第三者評価事業	放課後児童クラブの運営等について評価を行う	通年	岡山県	8人	放課後児童クラブ	0
情報発信メルマガ・WEBサイト	メルマガジンの発行ホームページの管理	年6回以上	岡山市内	2人	登録会員他 一般	0

## ■放課後児童指導員資格認定事業

### 《資格認定講習会》

#### 【目的】

放課後児童育成支援師資格等を認定するための講習会に関わる準備と実施。

#### 【概要・内容】

「放課後児童育成支援師資格」は11名（内再履修者1名）の受講者を迎え、「放課後児童専門育成支援師資格〈学校連携〉」は5名の受講者を迎え、「放課後児童高度育成支援師資格」は8名の受講者を迎え、それぞれ開催した。

高度育成支援師は合格者5名で、3月1日実践研究発表会を開催し、参加者は25名であった。

#### 【成果・課題】

専門と高度は会員を中心に案内し、育成については今回初めてICTを活用し中継で東京都と岡山県で同時開催した。受講者は11名（内再履修者1名）。中継で多少音声などの不具合はあったが、学ばれた方々の満足度は高い様子だった。東京会場の担当者から指摘された課題（HP上でのネット申込み・十分な告知期間）を改善すれば、東京での受講者をさらに増やすことは可能だろうと考えており、今後に向けてICT活用での研修に期待を感じている。

### 《資格認定》

#### 【目的】

資格認定講習会または養成課程にて修了された方に、認定資格証と資格証カードを発行する。

#### 【概要・内容】

資格認定講習会からは、育成支援師11名（仮3名）、専門育成支援師5名、高度育成支援師5名の計21名に、養成課程設置校からは鈴鹿短期大学8名、中国学園大学29名へ資格証を発行した。更新制の導入により、平成21年度取得者8名、平成26年度取得者278名の資格証カードを再発行した。

#### 【成果・課題】

協会資格の変更により、資格種別が、従来の「放課後児童指導員」「放課後児童指導員〈上級〉」2種類から、新資格3種類分と仮認定（支援員研修未修了者）と計6種類に増え、複雑化したため、煩雑にならないような管理方法が必要である。

### 《資格養成課程》

#### 【目的】

放課後児童指導員資格を大学で取得できるようにすることを目的としている。そのため、資格取得が可能となる養成課程の設置に関する業務を行っている。

#### 【概要・内容】

- ①養成課程設置校3校の設置更新料や年会費の請求。質問への連絡対応など。
- ②設置を検討する学校からの問い合わせに対する対応。
- ③表彰者3名への賞状、記念品の授与。

#### 【成果・課題】

- ①今後に備え、養成課程の継続や教員の変更手続き等に関する規定を明確にする必要がある。
- ②連絡協議会の詳細が不透明なまま会費を請求したため、提示が求められている。
- ③養成課程の設置を検討する大学等からの質問に対し、迅速に回答できる体制を整える。

④設置申請の手引きの改訂に取り組むとともに、連絡協議会総会を開催できるようにする。

#### 《資格認定者管理》

##### 【目的】

放課後児童指導員資格認定者（登録会員）の情報管理

##### 【概要・内容】

令和元年度までの資格認定者 1,087 名の情報管理と、登録会員の年会費引き落とし手続き。

##### 【成果・課題】

令和元年度の年会費を各会員の郵便局口座から自動引き落としするための手続きを行なった。42 名が未徴収。未徴収者には 2 回郵便にて連絡しており、2 年未納者で 3 年目となった方には、年度末で自動的に退会＝資格無効となる旨を伝えた。今年度末での退会者は 47 名（内資格失効 20 名）となっており、支援員研修スタート以降、退会する方が増えている。

#### ■放課後児童指導員研修事業

##### 《都道府県放課後児童支援員認定資格研修事業》 委託事業

##### 【目的】

国のガイドラインに沿った「放課後児童支援員認定資格研修」を都道府県からの委託を受け開催するもの。プロポーザルに参加し、滋賀県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・徳島県、随意契約で高知県からの委託を受けた。

##### 【概要・内容】

各県での開催数・場所・受講者数は以下となっている。

県・会場数	開催場所	開催日数	受講者数
滋賀県 2 会場	大津市・彦根市	4 日間×2 会場	273 名
鳥取県 1 会場	倉吉市	6 日間×1 会場	106 名
島根県 3 会場	浜田市・出雲市・松江市	4 日間×2 会場、8 日間×1 会場	203 名
岡山県 5 会場	岡山市 2 会場・倉敷市・津山市・総社市	4 日間×5 会場	469 名
広島県 7 会場	広島市 3 会場・呉市・東広島市・三次市・福山市	4 日間×7 会場	563 名
徳島県 2 会場	徳島市・東みよし町	6 日間×2 会場	118 名
高知県 1 会場	高知市	4 日間×1 会場	84 名

##### 【成果・課題】

昨年度の 6 県 19 会場から島根県が増え 7 県 21 会場と会場数が増えた。5 年目となり、事務局規模の割には、スムーズな企画運営ができていると思う。

#### 《フォローアップ研修事業》

##### 【目的】

登録会員の方へのフォローアップ研修を行う。

##### 【概要・内容】

登録会員へのフォローアップ研修を年 4 回各地域にて実施した。開催地、参加者数は以下である。

開催地域	開催日	内容	参加者数
函館	5月19日	学力テストで測れない非認知能力が子どもを伸ばす 講師：中山芳一	午前 23名 午後 14名
愛媛	5月26日	放課後の子どもたちの育ちのために、何を見て、どう仕掛けるのか！？ 講師：中山芳一	15名
岐阜	2月3日	プロとして取り組む実践検討会 講師：中山芳一	21名
佐賀	3月24日	放課後児童支援員のたしかな育成支援のために 講師：中山芳一	20名

#### 【成果・課題】

岐阜についてはクラブ運営をしている NPO 組織が主であるため、今まで行ってきたフォローアップ研修の中身（実践記録）を現場で確実に定着させ、その記録をもとに検討会を行いたいとの意思表示も受け、着実なステップアップができていくことが実感できた。例年開催できる地域とできない地域（函館・石川・奈良・徳島・高知・佐賀）が固定化されつつあり、それは、各地域で開催されている支援員対象の研修量とも関係している。開催は協会への求心力となるため、拡充に向けて取り組んでいる。

#### 《岡山県放課後児童支援員等資質向上研修業務》 委託事業

##### ①放課後子ども総合プラン合同研修

#### 【目的】

岡山県からの委託により、県内の放課後児童クラブと放課後子ども教室の指導者を対象に研修会を開催した。

#### 【概要・内容】

2月11日（火・祝）岡山県立大学にて午前10時から午後15時で開催し、282名が参加した。全体研修と3つのテーマ別研修会（①放課後児童クラブだからこそできる発達障がい支援のあり方 181名 ②子どもを共に見取ろう！放課後児童クラブと放課後子ども教室がつながるために 28名 ③もっともっと小学校とつながるために 45名）を行い、参加者が受講を選択できるようにした。

#### 【成果・課題】

学校との連携をメインに取り上げた研修は初めてだったこともあり、参加者も多く、9割の方が研修内容に満足している評価をいただいた。ただ、毎回そうだが子供教室と放課後児童クラブとでは支援者側に求められる役割が違うため、内容の焦点が難しく必ず子供教室側からは意見が出される。

##### ②初任者・中堅者研修

#### 【目的】

岡山県からの委託により、県内の放課後児童クラブに関わる職員を対象に、初任者、中堅者と階層別での研修会を開催した。

#### 【概要・内容】

階層別	地域	開催日	内容	参加者数
初任者	岡山市	1月25日	午前：健全育成事業の一般原則、職務内容 午後：育成支援の基本と実際 講師：中山芳一	36名
	真庭市	2月29日	新型コロナウイルスの影響により中止	
中堅者	岡山市	1月12日	育成支援と記録（講義・演習） 講師：中山芳一	74名
		1月26日	育成支援実践の事例検討（講義・演習） 講師：住	72名

			野好久	
	真庭市	2月 2日	育成支援と記録（講義・演習） 講師：中山芳一	9名
		2月 23日	育成支援実践の事例検討（講義・演習） 講師：住野好久	10名

【成果・課題】

県北部の会場設定場所に迷う中、県からの意向を配慮し県西部も考慮したが、結果受講者数は更に少なくなった。今後に向けては再度調整が必要と思われる。中堅者研修は3年目にあたり内容を変えることとした。結果受講クラブの偏りはあるが、再受講の方も見受けられた。

《島根県放課後児童支援員等研修業務》 委託事業

【目的】

島根県からの委託により、国のガイドラインに沿った「放課後児童支援員認定資格研修」と、県内の放課後児童クラブ支援員と放課後子ども教室指導者を対象の連携と支援の質の向上を図ることを目的とした「放課後児童支援員等キャリアアップ研修」を開催した。

【概要・内容】

＜放課後児童支援員認定資格研修＞

県・会場数	開催場所	開催日数	受講者数
島根県 3会場	浜田市・出雲市・松江市	4日間×2会場、8日間×1会場	203名

＜放課後児童支援員等キャリアアップ研修＞

1回目は放課後児童支援員と放課後子供教室の方と対象としており、2回目は支援員のみの内容となっており、2回通して参加し課題を提出された方へ修了証が発行された。

地域	開催日	内容	参加者数
松江会場	1月 26日	○放課後の安全対策とリスクマネジメント ○放課後の子どもの遊び 講師：若井暁 ----- ○放課後の子どものかかわり ○子どもたちの豊かな放課後のための連携・協働 講師：籠田桂子	52名
	2月 8日	実践記録と検討（講義・演習） 講師：中山芳一	
浜田会場	1月 25日	○放課後の安全対策とリスクマネジメント ○放課後の子どもの遊び 講師：若井暁 ----- ○放課後の子どものかかわり ○子どもたちの豊かな放課後のための連携・協働 講師：籠田桂子	32名
	2月 9日	実践記録と検討（講義・演習） 講師：中山芳一	

【成果・課題】

支援員研修の受託は今年度が初めてだったことにより、前年度までと異なる点（評価レポート）について受講者からの指摘はあったが、内容についての評価は高かった。松江市の会場確保が運営側と受講者側の利便性が異なり、今後の選定にあたっては工夫が必要である。キャリアアップ研修については、いずれも評価が高かったが、進め方が早いとの指摘が多くあった。

## ■放課後児童健全育成事業

該当する事業はなし。

## ■その他本会の目的を達成するための事業

### 《放課後児童クラブ第三者評価事業》

#### 【目的】

放課後児童クラブの質の向上を目的に、放課後児童クラブの育成支援内容に関する第三者評価を行う。

#### 【概要・内容】

今後の自主事業に位置付けていくために、放課後児童クラブの育成支援内容に関する第三者評価基準のガイドラインを作成した。

#### 【成果・課題】

数年保留となっていた事業を具体的な運用に向けてガイドラインを作成することができた。具体的な運用は次年度からになる為、運用しながら改善を進めていくこととする。

### 《メールマガジンの発行》

#### 【目的】

会員への情報提供と会員同士の交流

#### 【概要・内容】

5月より隔月で6回発行（55号～60号）内容は、

- ・理事長だより
- ・各種研修、セミナーのお知らせ
- ・シリーズ 支援員研修各科目のポイント
- ・研修の報告、感想 など

#### 【成果・課題】

隔月定期発行だが、研修の申込み以外については、会員からの反応は特にない。会員管理システムにより、不達メールと原因の詳細が確認できるため、配信率は97%になっている。

### 《ホームページの運営》

#### 【目的】

社会に対して、本協会の活動を幅広く提供する。

#### 【概要・内容】

最新の情報を提供するためトップページ「お知らせ」を、年10回程度更新を行った。研修会等の企画運営のページを業者へ依頼し修正を行った。フェイスブックによる情報発信は年10回行った。

#### 【成果・課題】

「指導員協会」検索でヤフー、グーグルともにトップにヒットし、フェイスブックページも2番目にヒットする。ホームページを見ての問い合わせがあるなかで、リニューアルしたことで、国の資格と本会の資格について明確になり、説明がしやすくなった。

**令和元年度 活動計算書**  
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費		
正会員受取会費	45,000	
登録会員受取会費	992,000	
団体会員受取会費	60,000	1,097,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	1,405,000	1,405,000
3. 受取助成金等		
受取助成金	0	
受取補助金	0	0
4. 事業収益		
資格認定事業収益	587,000	
養成研修事業収益	77,000	
養成研修事業収益(委託金収入)	31,476,985	
健全育成事業収益	0	
その他事業収益	5,006,116	37,147,101
5. その他収益		
受取利息	76	
雑収入	0	76
経常収益計		39,649,177
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	6,281,807	
アルバイト給与	3,105,800	
通勤手当	606,342	
福利厚生費	1,227,442	
人件費計	11,221,391	
(2) その他経費		
期首棚卸高	0	
諸謝金	9,816,714	
外注費	689,864	
会場借料	2,923,020	
通信運搬費	1,311,900	
旅費交通費	3,244,519	
広告宣伝費	1,871	
会議費	756,314	
研修費	0	
接待交際費	0	
消耗品費	947,541	
備品費	25,995	
慶弔費	0	
印刷費	2,263,894	
地代家賃	622,680	
保険料	315,298	
租税公課	1,838,680	
諸会費	3,325	

書籍購入費	233,590		
支払手数料	50,014		
委託料	84,700		
支払利息	0		
雑費	55,762		
その他経費計	25,185,681		
事業費計		36,407,072	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	412,193		
アルバイト給与	0		
通勤手当	8,358		
福利厚生費	170,168		
人件費計	590,719		
(2) その他経費			
諸謝金	29,725		
会場借料	198		
通信運搬費	33,842		
旅費交通費	147,649		
広告宣伝費	129		
会議費	21,292		
研修費	0		
接待交際費	6,856		
消耗品費	10,484		
備品費	1,715		
慶弔費	0		
印刷費	6,944		
地代家賃	40,877		
保険料	20,702		
租税公課	92,770		
諸会費	225		
書籍購入費	0		
支払手数料	855		
支払利息	0		
雑費	16,831		
その他経費計	431,094		
管理費計		1,021,813	
経常費用計			37,428,885
当期経常増減額			2,220,292
III 経常外収益		0	
経常外収益計			
IV 経常外費用		0	
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			2,220,292
前期繰越正味財産額			16,700,694
次期繰越正味財産額			18,920,986



# 令和元年度 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	4,986,382	
未収金	17,047,885	
流動資産合計		22,034,267
2. 固定資産		
投資その他の資産		
敷金	110,000	
固定資産合計		110,000
資産合計		22,144,267
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	1,635,993	
預り金	707,388	
未払消費税	879,900	
流動負債合計		3,223,281
負債合計		3,223,281
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		16,700,694
当期正味財産増減額		2,220,292
正味財産合計		18,920,986
負債及び正味財産合計		22,144,267

# 令和元年度 財産目録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目・摘 要	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
<b>1. 流動資産</b>		
現金預金		
手元現金	152,879	
中国銀行富田町支店普通預金	163,253	
ゆうちょ銀行通常貯金1	158,725	
ゆうちょ銀行通常貯金2	2,663,006	
ゆうちょ銀行振替口座	48,519	
ゆうちょ銀行定期預金	1,800,000	
その他流動資産		
未収金 岡山県子ども未来課	3,918,900	
鳥取県子育て応援課	1,224,400	
滋賀県健康医療福祉部	1,800,000	
徳島県次世代育成・青少年課	3,000,000	
島根県子ども・子育て支援課	6,220,000	
高知県教育委員会	884,585	
流動資産合計		22,034,267
<b>2. 固定資産</b>		
投資その他の資産		
敷金	110,000	
固定資産合計		110,000
<b>資産合計</b>		22,144,267
<b>II 負債の部</b>		
<b>1. 流動負債</b>		
未払金		
3月分給与支払い	413,300	
社会保険料(1月未納)	416,032	
通信費(後納郵便)	116,852	
外注費(サウティ・リサーチ)	622,141	
旅費(出光クレジット)	39,944	
消耗品費(カウネット)	27,724	
預り金		
職員に係る市県民税	55,800	
職員に係る社会保険料	134,368	
職員に係る源泉所得税	20,180	
謝金に係る源泉所得税	66,699	
養成校連絡協議会会費	430,341	
未払消費税	879,900	
流動負債合計		3,223,281
<b>負債合計</b>		3,223,281
<b>正味財産</b>		18,920,986

## 前事業年度の年間役員名簿

(平成31年4月1日から令和2年3月31日)

特定非営利活動法人日本放課後児童指導員協会

No.	役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
1	理事長	住野 好久		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	報酬無し
2	副理事長	中山 芳一		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	報酬無し
3	副理事長	矢吹 真子		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	報酬無し
4	理事	糸山 嘉彦		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	報酬無し
5	理事	籠田 桂子		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	報酬無し
6	理事	鈴木 瞬		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	報酬無し
7	理事	田中 一将		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	報酬無し
8	理事	中田 周作		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	報酬無し
10	理事	若井 暁		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	報酬無し

11	理事	岩井 沙弥花		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	報酬無し
12	理事	高田 恵美子 高		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	報酬無し
13	理事	豊田 開吏		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	報酬無し
14	理事	森本 りつ子		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	報酬無し
15	監事	高橋 有子		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	報酬無し
16	監事	長田 勝志		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	報酬無し